

テスト型コンテンツ制作支援ツール

smart QUTE

ユーザーマニュアル



エスエイティーター株式会社

(サイト公開用は一部割愛させていただいております)

サイト公開用

SQ09I081604s

## はじめに

学校や会社で行われている e ラーニングでは、学習や研修を全員がきちんと受講し、その結果、理解も十分だったというようなことを、先生や研修担当者がきちんと把握することが重要です。そのためには、テスト教材を活用することになりますが、それを独自に作るのは容易ではありません。

smart QUTE はそのような方を支援するための問題作成用のテンプレートです。問題表示、画面遷移、判定ロジックなどの基本機能はすべて備えており、問題作成者は問題のタイプや内容、解答、解説などの情報を普段使い慣れた Microsoft Excel に入力するだけで、簡単にテスト型 e ラーニングコンテンツが作成できるのです。

更に Jpeg 等の画像、Flash 形式アニメーション、Flash ビデオ、MP3 音声などのファイルを取り込むことができ、より表現力の高いコンテンツを作成することができます。

smart QUTE は、弊社 interaction Maker Pro の姉妹版として、さらに扱いやすいテンプレートを目指し開発されました。問題作成を短時間で行えるように設定を見直すとともに、ベースとなる Adobe Flash のバージョンを上げたことにより問題文、選択肢などを文字数により自動で最適な間隔にレイアウトしたり、設定するテキストに HTML タグを使用できるようになるなど、ユーザビリティ、デザイン、表現力も大きく強化されています。

また、独自カスタマイズ性を備えており、ロゴの変更や追加機能などご要望にお答えし、貴社・貴校専用のデザインに対応いたします。

この smart QUTE が、皆様のテストコンテンツ作成の効率化と、学習効果向上の手助けとなりますことを願ってやみません。

SATT smart シリーズ開発チーム

2009 年 8 月 31 日

## 目次

◆ <b>基本事項</b>	
必要システム構成 .....	3
受講環境 .....	3
制作環境 .....	3
ファイル構成 .....	4
画面各部の名称と説明 .....	6
受講画面 .....	8
◆ <b>smart QUTEを使ってみよう</b>	
サンプルテストを実施する .....	9
簡単なテスト問題を作成する .....	14
◆ <b>smart QUTEを使いこなそう</b>	
テストの種類 .....	17
画像等、外部のファイルを設定する .....	19
読み込み可能外部ファイル一覧 .....	19
画像等表示可能域サイズ表 .....	21
HTMLタグを使用する .....	22
HTMLタグ設定可能域 .....	22
設定可能HTMLタグ一覧 .....	22
データ作成用エクセルシート .....	24
基本設定 .....	25
問題設定 .....	27
一覧表示 .....	29
判定と結果の表示 .....	30
その他の機能 .....	32
デザイン、機能のカスタマイズ .....	33
SCORM対応 .....	34
◆ <b>資料</b>	
smart QUTE 仕様 .....	35
学習履歴の管理（SCORM仕様） .....	36
Excelのマクロセキュリティレベルの変更 .....	37
Flash Player セキュリティの設定について .....	38
文字入力問題 正解値設定制限等一覧 .....	39
連絡先 .....	40

## ◆ 基本事項

---

### 必要システム構成

#### 受講環境

分類	スペック
CPU	Intel Pentium 4 以上
OS	Windows 2000 / XP / Vista
ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 6.0 以上、または、 Mozilla Firefox 2 以上
ネットワーク環境	ブロードバンド (ADSL 8Mbps 以上推奨)
プラグイン	Adobe Flash Player 9 以上
ディスプレイ	1024×768 ドット 以上、High Color (16bit) 以上が表示可能なもの。
サウンド	サウンドカード等のデバイス、スピーカまたはヘッドホン

#### 制作環境

分類	スペック
CPU	Intel Pentium 4 以上
OS	Windows 2000 / XP / Vista
ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 6.0 以上、または、 Mozilla Firefox 2 以上
プラグイン	Adobe Flash Player 9 以上
ディスプレイ	1024×768 ドット 以上、HighColor (16bit) 以上が表示可能なもの。
サウンド	サウンドカード等のデバイス、スピーカまたはヘッドホン
編集用アプリケーション	Microsoft Office Excel 2003 以上

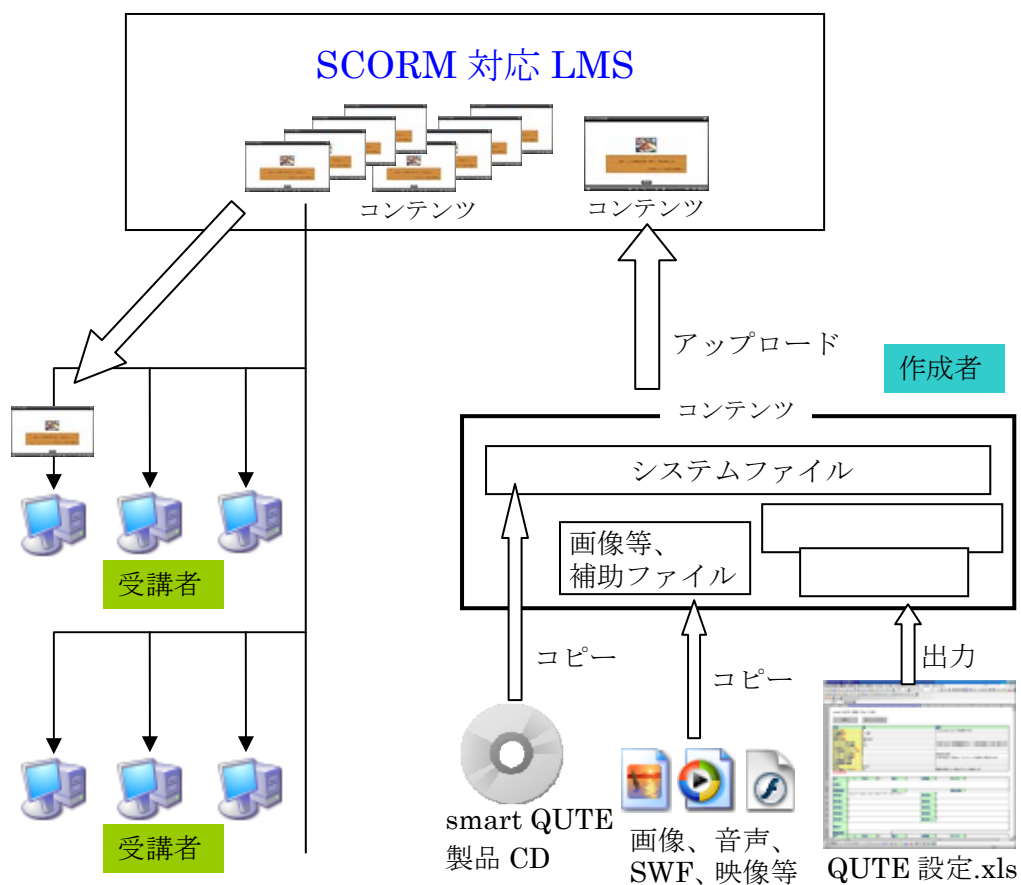
- この他、教材を各受講者に配信する際にサーバー環境が必要です。詳しくは各 LMS のマニュアルをご覧ください。
- 弊社製オープンソース LMS、Attain3 については、以下のサイトをご覧ください。  
<http://satt.jp/products/attain3.htm>

## ファイル構成

(公開用マニュアル非表示項目です)

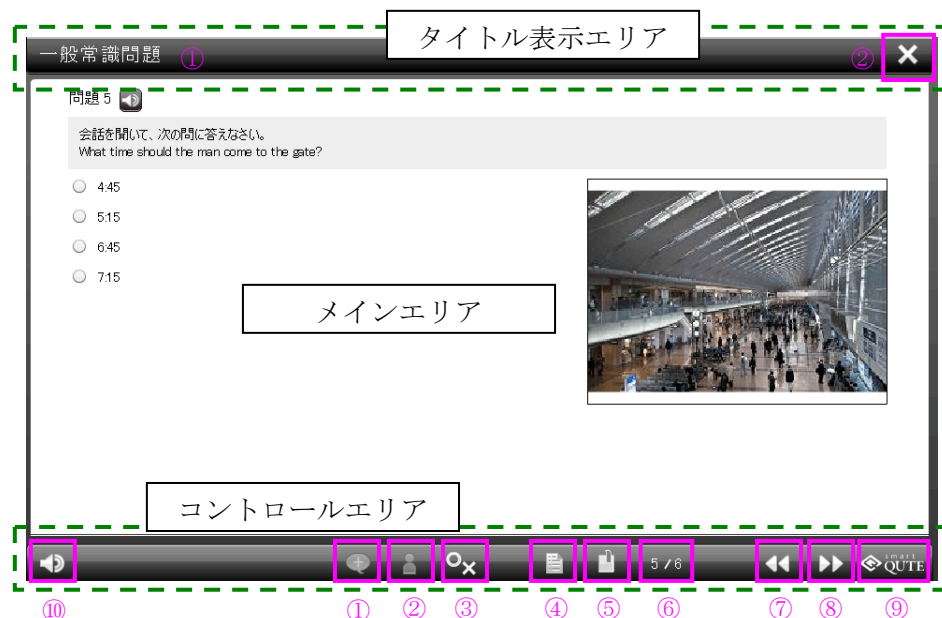
## 作成から公開、受講までの流れ

- smart QUTE での問題作成は、Microsoft Excel にて行います。
- 『QUTE 設定.xls』を開き、タイトルや合格点の設定、および問題の設定を行った後は、シートに設置された[ ----ファイル出力]ボタンを押し、コンテンツ用の設定ファイル ----- 、マニフェストファイル ----- を出力します。
- この2つの ----- ファイルと、CDに収められている『システムファイル』、必要に応じて表示する『画像等の補助ファイル』を一組として SCORM 対応 LMS にアップロードします。
- LMS にて公開のための設定を行い、受講が可能となります。



※ smart QUTE では、通常のアプリケーションのようなインストール作業はありません。問題を作成する場合は、CD の smart QUTE フォルダ全体をハードディスクなどにコピーしてご使用ください。

## 画面各部の名称と説明



### タイトル表示エリア

- ① タイトル：全体のタイトルを表示します。
- ② [終了]ボタン

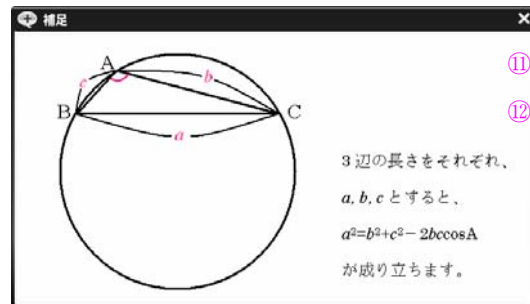
### メイン表示エリア

テストの実施、および必要な情報などが表示される領域です。

### コントロールエリア

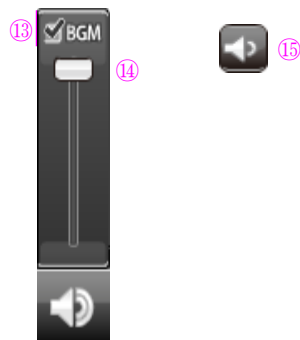
- ① [補足表示]ボタン  
補足ウィンドウを表示、消去します
- ② [解説表示]ボタン  
解説ウィンドウを表示、消去します
- ③ [判定]ボタン  
テストの判定を行います
- ④ [問題一覧]ボタン  
問題一覧画面、または結果表示画面に移動します
- ⑤ [しおり]ボタン  
テストページに[しおり]を設定、消去します
- ⑥ [問題番号] 表示  
現在表示されているページ、総問題数を表示します

- ⑦ [戻る]ボタン  
前のページを表示します
- ⑧ [進む]ボタン  
次のページを表示します
- ⑨ [情報]ボタン  
情報ダイアログを表示します。
- ⑩ [サウンドコントロール]アイコン  
音声コントロールを表示します



#### ポップアップウィンドウ

- ⑪ [補足]ウィンドウ  
解答のための補助画像を設定し、ポップアップで表示します。
- ⑫ [解説]ウィンドウ  
解答後の解説のための情報を、ポップアップで表示します。



#### 音声コントロール

- ⑬ [BGM ON/OFF]チェックボックス  
BGM 音声をミュートします。設定されている場合のみ有効。
- ⑭ [サウンドコントロール]バー  
音声全体のボリュームを調整します。
- ⑮ [ページ音声停止/再生]ボタン  
問題ページに音声ファイルが設定され場合に表示されます。

## 受講画面



- **ガイダンスページ**

コンテンツを開いたときに表示されるオープニングページです。開始ボタンを押すとテストを開始します。



- **全体解説ページ**

テスト全体の解説を表示するページです。



- **テストページ**

テストを行うページです。  
1～100 問設定可能です。



- **問題一覧ページ**

問題の設定問プレビュー、解答・判定状況、しよりの設定を一覧で表示します。



- **結果表示ページ**

テスト全ての判定がされた後に表示される画面です。得点、カテゴリーごとのチャート、結果コメントを表示します。



- **エンディングページ**

コンテンツが終了したときに表示されるページです。結果が非表示の場合に表示されます。

## ◆ smart QUTEを使ってみよう

### サンプルテストを実施する

ここからは、付属のサンプルコンテンツを使用してテストを実施する方法について説明します。「goodies」フォルダ「sample1」フォルダをハードディスク等にコピーしてください。「sample1」フォルダの `qute.html` をダブルクリックしてサンプルコンテンツを起動します。

**注意** ご使用の環境によっては Flash セキュリティの設定が必要です。  
p38 「Flash Player セキュリティの設定について」を参考に設定をしてください。

#### 1. ガイダンスページ



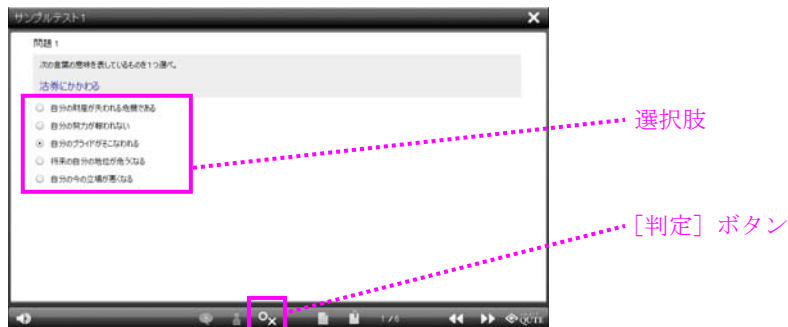
起動直後はガイダンスページが表示されます。ガイダンスでは通常、テストのタイトルなど表示します。[開始] ボタンを押して次へ進みます。

#### 2. 全体解説ページ



全体解説ページでは、テストの詳細等を表示します。例としてテストの趣旨、注意事項、合格点等、内容・レイアウト等は自由に設定します。なお、このページは省略して作成が可能です。[進む] ボタンを押して次のページを表示させます。

### 3. テストページ 1

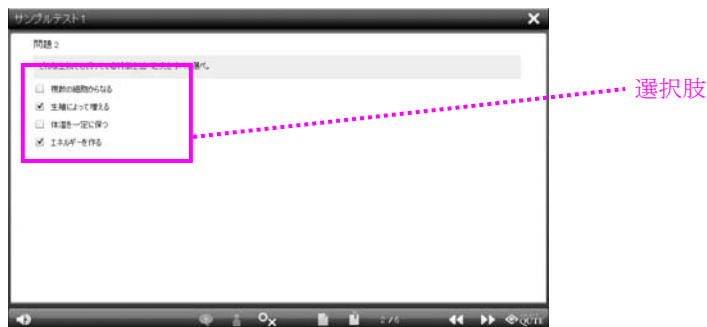


選択式のテストが出題されます。この問題は択一式（選択肢の中から一つを選択する）です。問題を読み、正解と思われる選択肢をクリックして選択ボタンをチェックしてください。

チェックしたら [判定] ボタンを押してください。正解・不正解が判定され表示されます。

[進む] ボタンを押して次のページを表示させます。

### 4. テストページ 2



選択式のテストが出題されます。この問題は複数選択式（選択肢の中からいくつかを選択する）です。問題を読み、正解と思われる選択肢全てをクリックしてチェックボックスをチェックしてください。

チェックしたら、今回は [判定] ボタンを押さずに [進む] ボタンを押して次のページを表示させます。

### 5. テストページ 3



## 6. テストページ 4

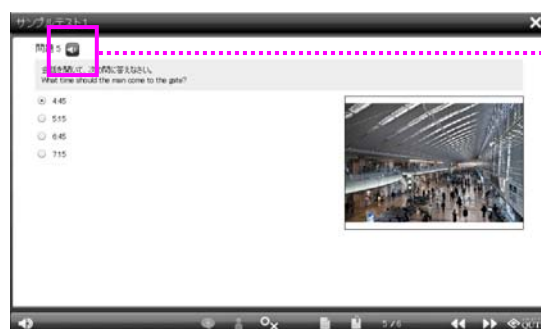


選択式のテストが出題されます。

ここでは解答をしないことにします。その代わりに、ページを見直すためのマークをつけます。[しおり] ボタンを押して反転させてください。

[進む] ボタンを押して次のページを表示させます。

## 7. テストページ 5



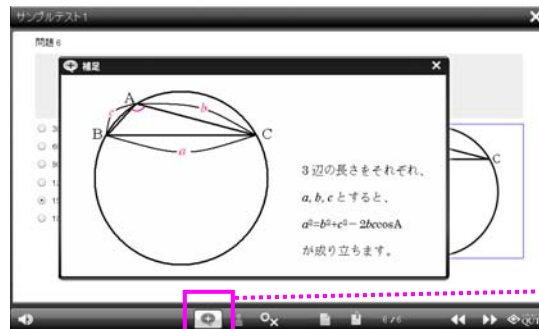
選択式のテストが出題されます。

このページでは音声再生されます。再生される音声は、問題番号の横のボタンにて再生/停止を操作できます。

また、音量の調節は [サウンドコントロール] アイコンにカーソルを合わせて表示されるコントロールより行ってください。

解答したら [進む] ボタンを押して次のページを表示させます。

## 8. テストページ 6



[補足表示]ボタン

選択式のテストが出題されます。

この問題は画像を見て解答する問題です。[補足表示] ボタンを押すとヒントの画像が表示されます。確認した後に解答してください。

解答したら [進む] ボタンを押して次のページを表示させます。

## 9. 問題一覧ページ



しおりマーク

テストの一覧画面が表示されます。この画面では各問題のプレビュー、解答・判定状況、ページの [しおり] の有無がまとめて確認できます。

先ほど解答しなかった「問題 3」には [しおり] がついていることが確認できます。「問題 3」をクリックしそのページに移動して解答してください。

問題一覧ページは [問題一覧] ボタンを押すことで、いつでも表示できますので、全ての問題に解答したら再度このページを表示させてください。

## 10. 結果表示ページ



[判定] ボタンを押してください。判定されていない問題が一括で判定されます。全ての問題が判定されるとテストの結果が表示されます。結果表示ページでは、得点、カテゴリごとの正解率、合格・不合格に応じたメッセージが表示されます。なお、結果が表示された後でも自由にページを移動できますので、結果を問題ページへ移動して確認してください。判定された後は[解説表示] ボタンを押して問題の解説を見ることができます。

## 簡単なテスト問題を作成する

ここからは、テストコンテンツを作成する方法を、簡単な例でご説明します。

「smart QUTE」フォルダをハードディスク等にコピーしてください。

テストコンテンツの設定は、Microsoft Excel にて行います。

「smart QUTE」フォルダ内「Excel マクロ」フォルダ、「QUTE 設定.xls」を開いてください。

**注意** 作成した設定ファイルは、Excel マクロ機能を使用して出力します。マクロが使用できない警告が出された場合は、p37「Excel のマクロセキュリティレベルの変更」を参考に設定をしてください。

### 1. 基本設定

エクセルシートは、設定内容で大きく二つに分かれており、上段が「基本設定」です。コンテンツのタイトル、合格点等の全体に関わる基本的な項目を設定します。表示される図を参考に、セルに入力をして、またはプルダウンから選択して設定を行ってください。

項目	値
タイトル※	第1回テスト
出題順序※	入力順
合格点※	10
判定方法※	個別判定
エンディングの文章	
エンディングの画像	
合格時のメッセージ※	おめでとう！合格です。
不合格時のメッセージ※	残念、不合格でした。
ガイダンスの文章※	第1回テストです。[開始] ボタンを押してください。
ガイダンスの画像※	
全体解説の文章	
全体解説の画像	
BGM	
SCORMバージョン※	なし

- ・ タイトル：第1回テスト
- ・ 出題順序：「入力順」
- ・ 合格点：10
- ・ 判定方法：「個別判定」
- ・ 合格時のメッセージ：おめでとう！合格です。
- ・ 不合格時のメッセージ：残念、不合格でした。
- ・ ガイダンスの文章：第1回テストです。[開始] ボタンを押してください。
- ・ SCORMバージョン：「なし」

なお、各設定項目などの詳しい説明は、p24「データ作成用エクセルシート」にて解説しています。

## 2. 問題設定

エクセルシート下段は「問題設定」です。問題は 1～100 問の設定が可能です。

表示される図を参考に、文字を入力して、またはプルダウンから選択して設定を行ってください。

NO	1	形式	択一	配点	10	正解値	1
問題文	日本一高い山はどれですか？次の中から選んでください。						
問題画像				音声			
選択肢1	富士山				選択肢6		
選択肢2	阿蘇山				選択肢7		
選択肢3	高見山				選択肢8		
選択肢4					選択肢9		
選択肢5					選択肢10		
解説文	正解は、静岡県と山梨県にまたがる富士山です。						
解説画像							

- ・ 形式 : 「択一」
- ・ 配点 : 10
- ・ 正解値 : 1
- ・ 問題文 : 日本一高い山はどれですか？次の中から選んでください。
- ・ 選択肢 1 : 富士山
- ・ 選択肢 2 : 阿蘇山
- ・ 選択肢 3 : 高見山
- ・ 解説文 : 正解は、静岡県と山梨県にまたがる富士山です。

上記の要領で、出題するページ分の設定を行ってください。

問題は 1 問でもコンテンツ化が可能です。

## 3. 設定ファイルの出力

基本設定、問題設定が終了したら、設定ファイルを出力します。

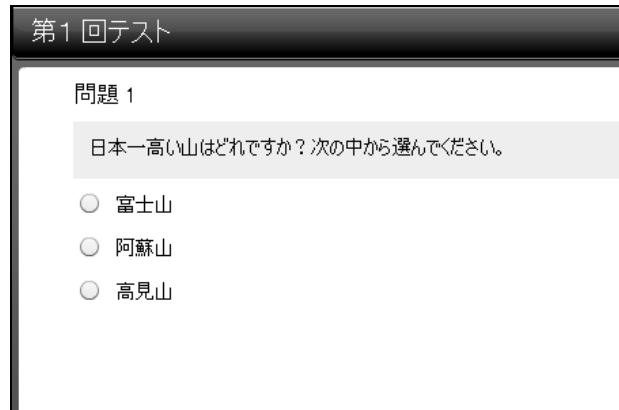
シート上部にある [---- ファイルの出力] ボタンを押してください。

保存先に、ハードディスクにコピーした「smart QUTE」フォルダ内、「----」フォルダを選択してください。「-----」の名前で保存します。

#### 4. 作成コンテンツの実行

“テストを実施する”で実施した要領と同じです。

qute.html を表示して、作成したコンテンツを確認してください。



The screenshot shows a web interface for a test. At the top, there is a dark header with the text "第1回テスト" (Test 1). Below the header, the question is titled "問題 1" (Question 1). The question text is "日本一高い山はどれですか？次の中から選んでください。" (Which is the highest mountain in Japan? Choose from the following). There are three radio button options listed below: "富士山" (Mount Fuji), "阿蘇山" (Mount Aso), and "高見山" (Mount Takami).

以上で、簡単な問題の作成は終了です。さらに詳しい機能につきましては、次のページ以降で説明します。

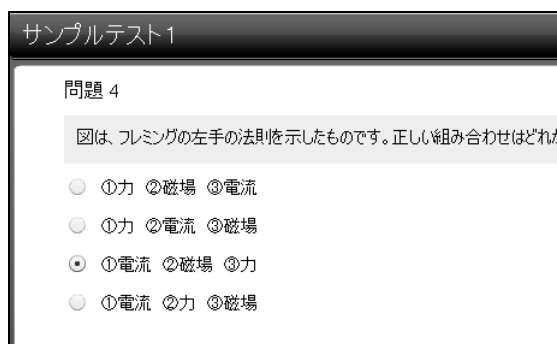
## ◆ smart QUTEを使いこなそう

### テストの種類

作成できる3つのテストの種類について説明します。

#### 択一問題

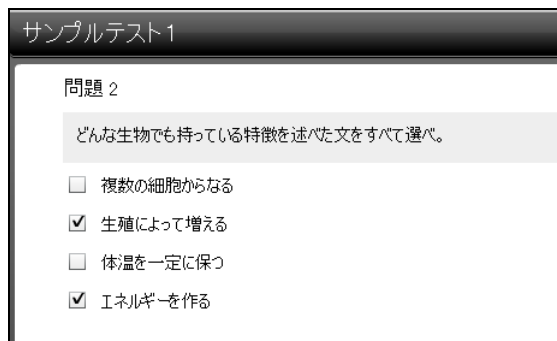
1～6個の選択肢を設定し、受講者は1つの選択肢を選び判定します。他のボタンを選ぶと、最初に選んだボタン選択は消え常に1つが選択される状態になります。



- 正解条件：  
正解に設定された選択肢を選択し判定を行った場合
- 不正解条件：  
正解に設定された以外の選択肢を選択し判定を行った場合  
いずれかの選択肢を選択しなかった場合

#### 複数選択問題

1～10個の選択肢を設定し、受講者は1～10個の選択肢を選び判定します。



- 正解条件  
正解に設定された選択肢全てを選択して判定を行った場合

- 不正解条件

正解に設定された選択肢が選択されずに判定を行った場合

正解に設定された以外の選択肢を選択して判定を行った場合

Excel シートでの複数の正解値の設定は、「正解値入力欄」に正解となる選択肢の番号をカンマ区切りで番号の若い順に入力します。

正解値	1,2,6
-----	-------

例) 選択肢 1、2、6 が正解の場合

### 文字入力問題

1～6 個の入力枠を設定し、受講者は入力枠に文字を入力し判定します。

一般常識問題	
問題 3	
次の熟語のよみを書きなさい。	
電話機用紙	
(1)	ちみちりよ

- 正解条件

文字入力欄各個において、正解に設定された文字列と同じ文字を入力して判定を行った場合

- 不正解条件

文字入力欄各個において、正解に設定された文字列と違う文字を入力し、または文字を入力せずに判定を行った場合

設定した得点は枠ごとの得点となり、他の問題形式と異なります。

文字入力問題では、1つの入力欄に対して複数の正解を設定することが可能です。例として「電話」「デンワ」「telephone」を正解として設定すれば、受講者はどれを入力しても正解となります。

選択肢1	電話 デンワ telephone
------	------------------------

Excel シートでの複数の正解値の設定は、「選択肢」欄に正解となる文字列を入力します。1つの枠に対して複数の正解を設定する場合は、セル内で改行を行い、正解値を入力します。

## 画像等、外部のファイルを設定する

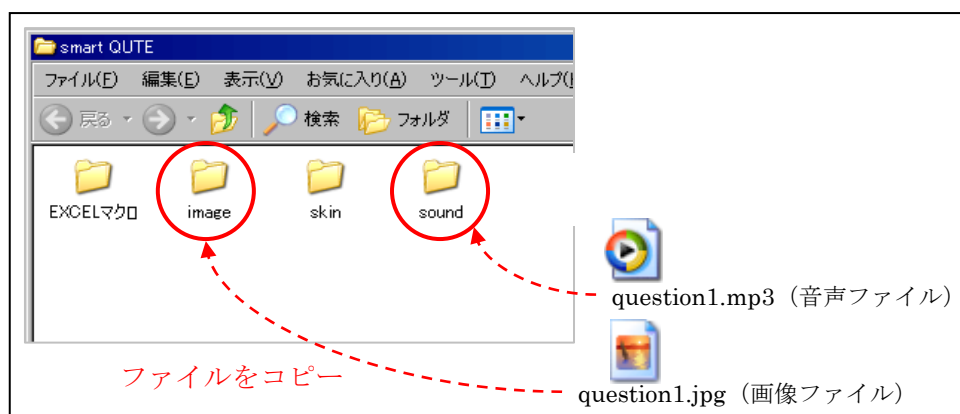
smart QUTE では、画像、映像、音声等を外部ファイルとして読み込み表示することができます。読み込みが可能なファイルの種類については、<読み込み可能外部ファイル一覧>表をご覧ください。

### 読み込み可能外部ファイル一覧

	ファイルの種類(拡張子)	格納フォルダ	備考
画像等	JPEG (.jpg, .jpeg)	image	
	PNG (.png)	image	透過をサポート
	GIF (.gif)	image	透過をサポート、アニメーション GIF は先頭の画像を静止表示
アニメーション	SWF (.swf)	image	透過をサポート Flash CS3 以降で作成された SWF を推奨 表示サイズ=オブジェクトのサイズ=fla ステージサイズで作成を推奨 ActionScript3 動作(ただし、ActionScript を使用した場合は保障対象外)
映像	FLV (.flv)	image	問題画像のみに設定可能
	H.264 (.f4v)	image	問題画像のみに設定可能
音声	MP3 (.mp3)	sound	BGM、問題の「音声」にて設定可能

ここでは、問題ページに「問題画像」、「問題音声」を設定する例について説明します。

1. 表示する画像ファイルを「image」フォルダに、音声ファイル「sound」フォルダにコピーします。



2. 「データ作成用エクセルシート」問題設定で、コピーしたファイル名を入力します。

NO	5	形式	択一	配点	20	正解値	1
問題文	会話を聞いて、次の問に答えなさい。 What time should the man come to the gate?						
問題画像	question1.jpg		音声	question1.mp3			
選択肢1	4.45					選択肢6	
選択肢2	5.15					選択肢7	
選択肢3	6.45					選択肢8	

ファイル名を入力

3. 設定ファイルを出力して、コンテンツを実行して設定されたことを確認します。



同じ要領で、他のページ、他の種類のファイルも設定が可能です。  
 特殊な例として、映像ファイル (FLV) は「問題画像」のみで設定が可能です。  
 「問題画像」以外で動作のある画像を使用する場合は Flash アニメーションファイル (SWF) を使用してください。  
 なお、「問題画像」「補足画像」両方に画像が設定された場合、「問題画像」は [補足ウィンドウ] を表示するボタンとして機能します。

画像が設定可能なエリア、および表示サイズ等については、下の表を確認してください。

画像等表示可能域サイズ表

	表示サイズ (横×高さ)	表示方法	備考
ガイダンス	940 × 430	エリアに合わせ拡大縮小	
全体解説	940 × 465	原寸表示	
問題エリア	845 × -	原寸表示	タグ指定にてサイズの変更が可能
問題画像	320 × 240	エリアに合わせ拡大縮小	
問題映像	320 × 240	エリアに合わせ拡大縮小	
エンディング	940 × 465	原寸表示	
補足	683 × 353	原寸表示	
解説	683 × 353	原寸表示	

- ※ 表示サイズとは、画像等が表示できる最大サイズです。
- ※ 表示方法「原寸表示」とある表示域では、上記の表示サイズを超える画像はスクロールにより全体が表示されます。
- ※ 画像1ファイルは、1MBを超えないサイズを基準とします。

## HTML タグを使用する

smart QUTE では、ほとんどの設定可能なテキストで HTML タグを使用することができます。HTML タグを使用すると、文字のサイズの変更や修飾、余白の設定、外部ページへのリンク等の設定を行うことができます。

### HTMLタグ設定可能域

ガイドンス	
全体解説	
テストページ	問題エリア、選択肢 解説ウィンドウ
エンディング	

### 設定可能HTMLタグ一覧

種類	タグ	属性	説明
アンカー	<a>～</a>	target	ページを読み込む先のターゲットウィンドウの名前を指定します。(オプション_self、_blank、_parent、_top)
		href	URLを指定します。
ボールド	<b>～</b>		テキストをボールドで表示します。
ブレーク	 		テキストフィールドに改行を作成します。 Excel セル内で改行を行っても同じ効果があります。
フォント	<font> ～</font>	color	16 進数のカラー(#FFFFFF)値で指定します。
		face	使用するフォントの名前を指定します。
		size	フォントのサイズを指定します。
イメージ	<img> ～</img>	src	URLを指定します。
		width	ピクセル単位の幅を指定します。
		height	ピクセル単位の高さを指定します。
		align	水平整列 left、right で指定します。
		hspace	イメージの周りの水平方向の空白の量を指定します。
		vspace	イメージの周りの垂直方向の空白の量を指定します。
イタリック	<i>～</i>		テキストをイタリックで表示します。
リスト項目	<li>～</li>		テキストの行頭に箇条書き記号を表示します。
段落	<p>～</p>	align	新しい段落を作成します。値 left、right、justify、center でテキストの整列を指定できます。
テキストフォーマット	<textformat> ～ </textformat>	blockindent	ブロックのインデントをポイント単位で指定します。
		indent	左マージンから段落の先頭文字までのインデントを指定します。
		leading	行間の行送り(垂直の行間隔)を指定します。
		leftmargin	段落の左マージンをポイント単位で指定します。
		rightmargin	段落の右マージンをポイント単位で指定します。
下線	<u>～</u>		テキストには下線が引かれます。

- ※ `img` タグを使用する場合、1つの設定域に2つ以上の `img` タグを設定しないようにしてください。
- ※ `img` タグ `vspace` 属性を使用した場合、値を4以下に設定すると画像の下部の数ピクセルが表示されなくなり、最小値0で5ピクセル分が表示されなくなります。

ここからは、HTML タグの使用例を説明します。

### 文字のサイズ変更、文字の修飾

テキストのみ
次の言葉の意味を表しているものを1つ選べ。 沽券にかかわる
タグを使用
次の言葉の意味を表しているものを1つ選べ。 <b>沽券にかかわる</b>

次の言葉の意味を表しているものを1つ選べ。<br>  
<font size="18" color="#000099"><b>沽券にかかわる</b></font>

2行目の文字サイズを大きく青色にし、さらに太字にしてあります。

### 画像の表示

<img>タグを使用すると、本来画像が設定できない領域に画像を表示することが可能です。問題エリアに画像を表示します。

次の公式の説明として、正しいものを全て選べ。
$AB = \sqrt{(b_1 - a_1)^2 + (b_2 - a_2)^2}$

次の公式の説明として、正しいものを全て選べ。  


※「image」フォルダ内の「ABdistance.png」を表示す

通常のテキストで表現できない数式を画像で作成して表示しています。この例では、表示する画像を「image」フォルダに入れてありますが、専用のフォルダを作成し、そのURLを指定することもできます。

画像はさらに大きなサイズで作成したり、選択肢や解説など他の箇所にも表示が可能です。なお、<img>タグを使用する場合は、レイアウトの崩れを防止するため画像の表示サイズを設定してください。また、1つの設定領域に複数設定しないで下さい。

## データ作成用エクセルシート

(公開用マニュアル非表示項目です)

データ作成用エクセルシート「QUTE 設定.xls」は、「smart QUTE」フォルダ、「EXCEL マクロ」フォルダ内にあります。

「QUTE 設定.xls」は、設定ファイルおよびマニフェストファイル書き出し後、コンテンツの動作に必要ありませんので、LMS に登録する際は削除してください。

### 「読み取り専用」の解除

smart QUTE CD からハードディスクへコピーしたファイルは、「読み取り専用」になっています。設定を行う際は、プロパティより「読み取り専用」のチェックをはずしてください。

### 【注意】 マクロの有効化

Excel のセキュリティを「高」以上にしている場合には、「QUTE 設定.xls」を開いたときにマクロが使用できないことが表示されます。マクロの設定については p37 「Excel のマクロセキュリティレベルの変更」を参考に設定をしてください。

エクセルシートは、コンテンツ全体にかかる設定を行う「基本設定」と、出題する問題毎に設定を行う「問題設定」に分かれています。

設定方法は、プルダウンメニューからの選択、またはテキスト・数値の直接入力により行います。

エクセルシートは、行や列を挿入、または削除すると正常にファイルを出力できなくなります。また、行や列を挿入・削除は、後述の「初期化」では復帰できません。誤って操作し、正常にファイル出力ができなくなった場合は CD から再度コピーする等してください。

### 基本設定

項目	値
タイトル※	
出題順序※	入力順
合格点※	
判定方法※	一括判定
エンディングの文章	
エンディングの画像	
合格時のメッセージ※	
不合格時のメッセージ※	
ガイダンスの文章※	
ガイダンスの画像※	
全体解説の文章	
全体解説の画像	
BGM	
SCORMバージョン※	なし

※ 必須項目

項目	説明
タイトル※	タイトルエリアに表示されるタイトルを設定します。 単一行で最大全角で約59文字まで表示できます。
出題順序※	プルダウン選択式 問題の出題順序を「入力順」「ランダム」から選択します。
合格点※	テストの合格点を設定します。0～99999 の整数で入力します。 問題設定での配点の合計値を越えないようにしてください。
判定方法※	プルダウン選択式 <ul style="list-style-type: none"> <li>「一括判定」 一覧画面でのみ判定が可能</li> <li>「個別判定」 一覧画面、および各テストページで判定が可能</li> <li>「結果画面表示なし(一括判定固定)」 一覧画面で判定を行い、テストの実施者に結果を表示しません。 学習ではなく試験を想定しています。</li> </ul>
エンディングの文章	エンディング画面で表示するテキストを入力します。 判定方法で、「結果画面表示なし(一括判定固定)」を選択した場合は「エンディングの画像」か、どちらかの設定が必須となります。 また、両方を表示することも可能です。
エンディングの画像	エンディング画面で表示する画像のファイル名を入力します。 判定方法で、「結果画面表示なし(一括判定固定)」を選択した場合は「エンディングの文章」か、どちらかの設定が必須となります。 また、両方を表示することも可能です。
合格時のメッセージ※	結果表示ページの結果コメントに表示される、合格時のメッセージを入力します。全角で100文字弱の文字数まで入力できます。 HTML タグは使用できません。
不合格時のメッセージ※	結果表示ページの結果コメントに表示される、不合格時のメッセージを入力します。全角で100文字弱の文字数まで入力できます。 HTML タグは使用できません。
ガイダンスの文章※	ガイダンス画面で表示するテキストを入力します。 「ガイダンスの画像」と排他設定です。
ガイダンスの画像※	ガイダンス画面で表示する画像のファイル名を入力します。 「ガイダンスの文章」と排他設定です。
全体解説の文章	全体解説画面で表示するテキストを入力します。 「全体解説の画像」と、どちらかが入力されないと、全体解説は省略されます。「全体解説の画像」と両方を表示することも可能です。
全体解説の画像	全体解説画面で表示する画像のファイル名を入力します。 「全体解説の文章」と、どちらかが入力されないと、全体解説は省略されます。「全体解説の文章」と両方を表示することも可能です。
BGM	コンテンツ全体で流す BGM のファイル名を入力します。
SCORM バージョン※	プルダウン選択式、LMSの SCORM バージョンを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「なし」 履歴の送信は行いません。 また、----- ファイルの出力も行いません。</li> <li>「SCORM1.2」 SCORM1.2 対応LMSに搭載させる場合に選択します。</li> <li>「SCORM2004」 SCORM2004 対応LMSに搭載させる場合に選択します。</li> </ul>

## 問題設定

NO	1	形式	択一	配点		正解値		カテゴリ		
問題文										
問題画像				音声					補足画像	
選択肢 1						選択肢 6				
選択肢 2						選択肢 7				
選択肢 3						選択肢 8				
選択肢 4						選択肢 9				
選択肢 5						選択肢 10				
解説文										
解説画像										

項目	説明
形式	プルダウン選択式 問題形式を「択一」「複数選択」「文字入力」から選択します。
配点	各問題の配点を 1～100 の整数で入力します。 「文字入力」では、入力枠 1 つに対する配点になります。
正解値	<ul style="list-style-type: none"> <li>「択一」の場合 正解の選択肢の番号を 1 から 6 の整数で指定します。</li> <li>「複数選択」の場合 正解の選択肢の番号を小さい順に、半角カンマ「,」で区切って指定します。</li> <li>「文字入力」の場合 この設定は無効となり、選択肢欄に正解値を入力します。</li> </ul>
カテゴリ	カテゴリを入力します。 英語、数学、国語などの教科名、指導力、理解力、分析力などの能力の分類をここに文字入力します。 空欄の場合も、ひとつの分類として扱われます。
問題文	問題文を入力します。 問題文セルが空欄の場合、他の項目が入力されていても、問題が入力されていないものとして扱われます。
問題画像	画像・映像エリアで表示する画像・または映像ファイル名を入力します。
音声	問題ページで再生する音声のファイル名を入力します。
補足画像	補足ウィンドウで表示する画像のファイル名を入力します。
選択肢	<ul style="list-style-type: none"> <li>「択一」の場合 解答の選択肢を、各欄に 1 つずつ、最低 1、最大 6 個の入力が有効です。 選択肢欄に空欄があると、昇順に詰めて設定されますが、正解値の設定に影響があります。</li> <li>「複数選択」の場合 解答の選択肢を、各欄に 1 つずつ最低 1、最大 10 個の入力が有効です。 選択肢欄に空欄があると、昇順に詰めて設定されますが、正解値の設定に影響があります。</li> <li>「文字入力」の場合 入力欄に対する正解値を入力します。最大 6 個の入力が有効です。 スペースや半角・全角を含め正確に一致した場合にのみ正解となります。 派生する複数の正解値は、改行区切り (Alt+Enter) で入力します。 改行を含む正解値の設定はできません。</li> </ul>
解説文	解説ウィンドウで表示するテキストを入力します。 「解説画像」と、どちらかが入力されないと、解説ウィンドウは省略されます。 「解説画像」と両方を表示することも可能です。
解説画像	解説ウィンドウで表示する画像のファイル名を入力します。 「解説文」と、どちらかが入力されないと、解説ウィンドウは省略されます。 「解説文」と両方を表示することも可能です。

## ファイルの出力

(公開用マニュアル非表示項目です)

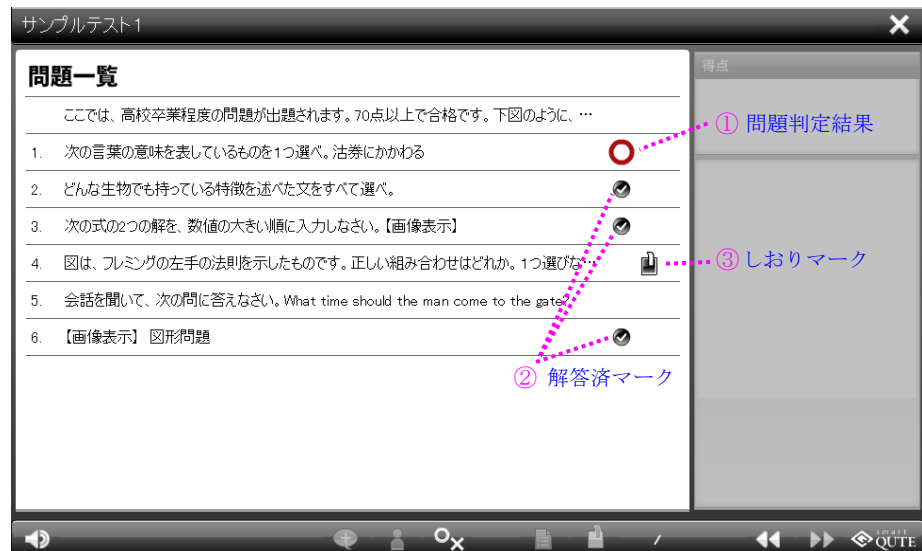
マニフェストファイル (-----) は、基本設定の **SCORM** バージョン「**SCORM1.2**」または「**SCORM2004**」を選択した場合に出力されます。データファイル保存先を指定するダイアログが開きますので、それぞれ所定の場所に保存してください。

## 初期化

シート上部の [初期化] ボタンを押すことで、設定シート全体の入力設定を初期状態に戻すことができます。なお、ダイアログで実行して良いかを確認されます。

## 一覧表示

テストの解答状況などについて確認ができる、問題一覧ページが用意されています。その表示及び機能について説明します。



### ① 問題判定結果

判定設定が「個別判定」に設定されている場合、既に判定がされている問題は結果が表示されます

### ② [解答済み]マーク

問題に対して、解答済みの場合に表示されます

### ③ [しおり]マーク

問題に対して、しおりが付けられている場合に表示されます

「問題一覧」ページでは、問題のプレビューと、上記のマークが表示されます。問題のプレビューをクリックすることで、そのページに移動します。また、[問題一覧表示]ボタンを押すことで、他のページより「問題一覧」ページに移動することができます。画面内に可能な表示は、約 10 問です。それ以上の問題が設定されている場合はスクロールにて全体を表示します。

## 判定と結果の表示

### 判定設定

smart QUTE では、3種類の判定実施方法が選択できます。

	判定ページ		結果表示	エンディング
	テストページ	問題一覧		
一括判定	—	○	○	—
個別判定	○	○	○	—
結果画面表示なし (一括判定固定)	—	○	—	○

### 判定の実施

[判定]ボタンを押すことにより判定を行います。「問題一覧」ページにて行う判定では、ダイアログで実行して良いかを確認されます。

### 判定表示

#### テストページ



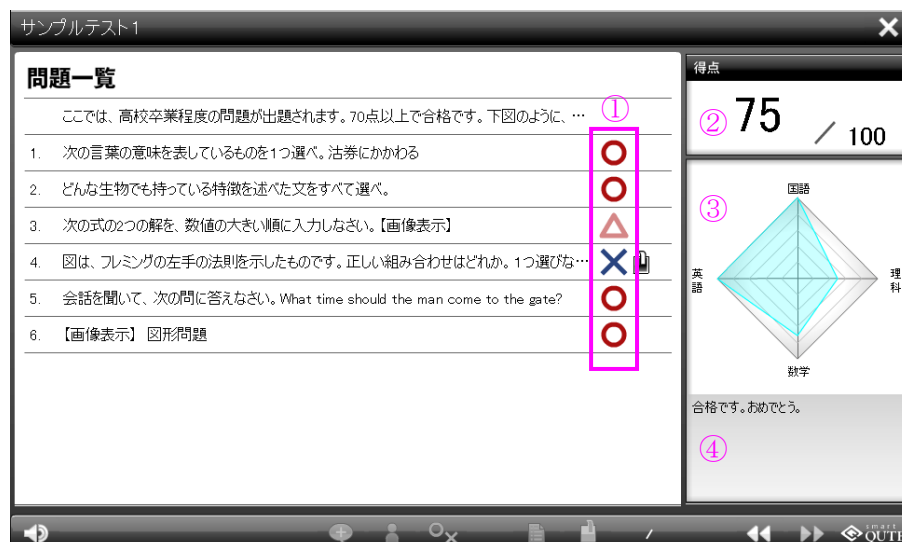
「個別判定」「一括判定」では、テストページにて判定結果を確認することができます。「択一問題」「複数選択問題」ではページ全体で、「入力問題」は入力枠ごと画面右に「正解・不正解」のマークが表示されます。

### 解説ウィンドウ

判定が行われた状態のテストページでは、設定されている場合に「解説ウィンドウ」を開くことができます。詳しくは p32 「解説表示」をご覧ください。

## 結果表示ページ

「個別判定」「一括判定」では、結果表示ページにて全体の結果を確認することができます。なお、結果表示ページの多くは、問題一覧ページと共通です。



### ① 問題判定結果

問題毎の判定結果が表示されます。

○：正解 ×：不正解 △：入力問題にて正解・不正解が混在した場合

### ② 得点・最高点

設定した配点に基づく得点および取得可能な最高点を表示します。

### ③ レーダーチャート

カテゴリーの設定にて、3種類以上設定した場合に有効です。各カテゴリーの正答率を線で結び多角形で示します。多角形の中心が0%、頂点が100%の正答率を示します。

### ④ 結果コメント

合格時、不合格時の2種類のテキストを表示します。全角文字で約100文字まで表示できます。

## エンディングページ

「結果画面表示なし（一括判定固定）」では、結果表示ページが表示されず、エンディングページが表示されます。

エンディングページについて詳しくは p32 「エンディングページ」をご覧ください。

## その他の機能

### 全体解説ページ

全体解説ページは、ガイダンスの次、テストページの前に表示される情報表示用のページです。画像、テキストまたはその両方を表示することが可能で、設定をせずページを省略することもできます。

画像、テキストが両方設定された場合は、ウィンドウを上からテキスト、画像の順で配置されます。

### エンディングページ

エンディングページは、判定実施方法を「結果画面表示なし（一括判定固定）」に設定した場合設定が必須となる情報表示用のページです。画像、テキストまたはその両方を表示することが可能で、配置順や表示領域等は全体解説ページと共通です。

エンディングページでは、基本的に「情報」表示と「終了」以外の操作はできません。

### 補足表示

テストページでは、[補足表示]ボタンを押すことで補足ウィンドウを表示します。補足ウィンドウは画像を表示することが可能です。なお、問題画像を合わせて設定した場合は、問題画像が補足ウィンドウを開くボタンとして機能します。

### 解説表示

判定実施後、テストページでは[解説表示]ボタンを押すことで解説ウィンドウ表示します。解説ウィンドウは画像、テキストまたはその両方を表示することが可能です。

画像、テキストが両方設定された場合は、ウィンドウを上から画像、テキストの順で配置されます。

### [しおり]ボタン、機能

テストページでは、[しおり]ボタンを押すことでそのページにマークをつけることができます。マークは問題一覧・結果表示ページで確認できるほか、[しおり]ボタンの表示は押された状態でロックされるので、その表示により「しおり」が付けられていることが確認できます。ロックされた状態でもう一度[しおり]ボタンを押すと解除されます。

### **[終了]ボタン**

画面右上の[終了]ボタンをクリックすることで、smart QUTE を終了することができます。ブラウザの閉じるボタンなど、smart QUTE の[終了]ボタン以外を使用した場合は、学習履歴が正しく送信されない場合がありますのでご注意ください。

## **デザイン、機能のカスタマイズ**

smart QUTE は汎用性が高く、官公庁、企業、学校など様々な場所でご使用になれるよう開発されていますが、独自の機能を加えたい、デザインを変更したい、現在使用している LMS にあわせたいなどご要望をお持ちかもしれません。その場合、別途お見積もりとなりますが、ご要望に合わせた機能の拡張やデザイン変更など、貴社・貴校専用の独自カスタマイズに対応しています。お気軽にお問い合わせください。

### **連絡先**

●エスエイティーティー株式会社

商品販売担当

E-mail : [service@satt.jp](mailto:service@satt.jp)

Fax : 03-5259-3366

お問い合わせ案内 URL : <http://satt.jp/company/contact.htm>

## SCORM対応

smart QUTE では、履歴形式が SCORM1.2 と 2004 に対応しており、多くの LMS（学習管理システム）に登録して実行し、履歴のやり取りをすることが可能です。smart QUTE で取り扱う履歴の詳細は、巻末の資料 p36「学習履歴の管理（SCORM仕様）」をご覧ください。

## LMSに登録、動作、履歴をテスト

コンテンツ作成後は、Attain3 などの LMS（学習管理システム）へ登録します。受講者モードで教材を実行し、学習の完了（ステータス）や得点（スコア）、問題ごとの結果情報（インタラクションデータ）等を管理者画面で確認してください。

Attain3 09-08-19 17:27:55 閉じる

進捗状況 コース名称: QUTE\_aze

教材名称	ステータス	学習回数	スコア	累計時間
QUTE_aze		10	37	0000:01:34
sample090805		1	74.0	0000:01:34
sample090814		9	0.0	0000:00:00

参考 (SATT Attain3 進捗状況)

Attain3 ユーザインタラクションの詳細 09-08-31 15:43:51 全データ出力 閉じる

受講者名 :

コース名	インタラクションID	インタラクションタイプ	正答	解答	判定	反応時間	解答日付	解答時間
QUTE_aze								
sample090828A	QID_3-1	fill-in	-24---4 -2---2 4---4 -2 ---2 4---4 -2	2-4	wrong	00:00:05	2009/08/31	15:42:19
sample090828A	QID_1-1	fill-in	ちみちりようーチミモワリョウ	ccc	wrong	00:00:01	2009/08/31	15:42:36
sample090828A	QID_2	choice	2,4	2,4	correct	00:00:02	2009/08/31	15:42:37
sample090828A	QID_4	choice	4	4	correct	00:00:01	2009/08/31	15:42:37
sample090828A	QID_5	choice	1	1	correct	00:00:01	2009/08/31	15:42:37
sample090828A	QID_6	choice	4	4	correct	00:00:01	2009/08/31	15:42:37

参考 (SATT Attain3 ユーザインタラクションの詳細)

## レジューム機能

全ての問題に解答せず、または判定を実施せずコンテンツを閉じた場合、smart QUTE はそれまでの状態を LMS に送信し記録します。再度コンテンツを開いた場合は記録された内容が復元され、前回の続きから実施することができます。

## ◆ 資料

## smart QUTE 仕様

名称	SATT smart QUTE (スマート キュート)
分類	テスト型コンテンツ制作用テンプレートツール
主な仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 出題数 1～100 問</li> <li>● 出題形式 択一、複数選択、文字入力</li> <li>● 出題順序 記述順、ランダム</li> <li>● 問題分類 カテゴリ関連付けによる分類</li> <li>● 問題用補助ファイル 画像、アニメーション、動画、音声</li> <li>● 判定表示有無 有、無</li> <li>● 判定実施タイミング 一括、一括・頁毎</li> <li>● 判定結果表示 得点、コメント表示</li> <li>● 情報表示 補足情報、解説情報</li> </ul>
対応する SCORM	バージョン SCORM 1.2、SCORM 2004 履歴 学習時間、学習進捗(学習中/学習済)、得点、問題別の解答詳細、途中解答等記録/復元、判定結果(合格/不合格) 動作検証済みLMS SATT Attain3
対応するファイル形式	読み込み可能ファイル JPEG (.jpg、.jpeg) PNG (.png) GIF (.gif) Flash ムービー (.swf ) ビデオ表示で対応するファイル形式 Flash ビデオ (.flv) H.264 ビデオ (.f4v)
制作・販売	エスエイティーティー株式会社

## 学習履歴の管理（SCORM仕様）

「QUTE 設定.xls」の「SCORM バージョン」設定にて、「SCORM1.2」、または、「SCORM2004」を選択した場合の履歴送受信について示します。

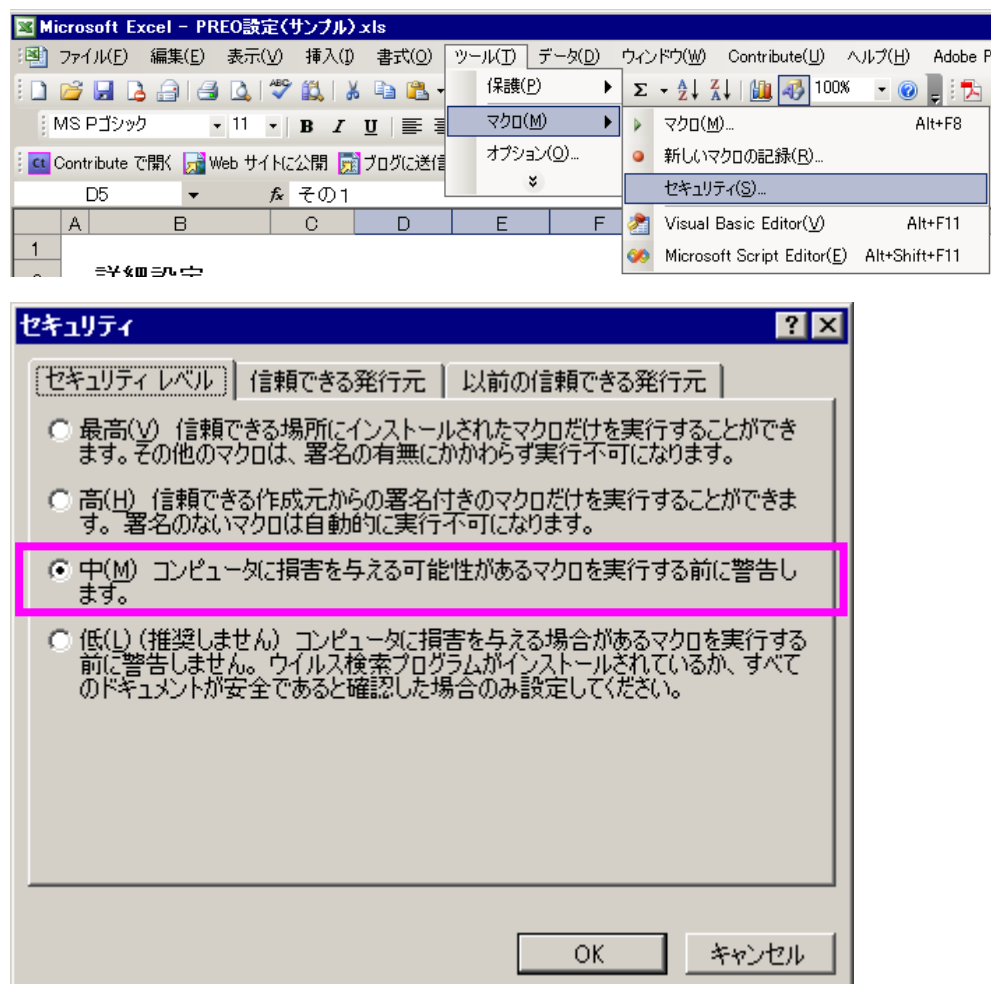
	SCORM1.2	SCORM2004
起動	「LMSInitialize」を実行	「Initialize」を実行
	「cmi.core.lesson_status」が「not attempted」のときに、「incomplete」を送信	「completion_status」が「unknown」のときに、「incomplete」を送信
ページ移動	現在のページ数を「cmi.core.lesson_location」に送信	現在のページ数を「cmi.location」に送信
	出題順序と解答状況を「cmi.suspend_data」に送信	出題順序と解答状況を「cmi.suspend_data」に送信
判定	インタラクションログを送信	インタラクションログを送信
全問題判定完了	「cmi.core.score.max」に最高点、「cmi.core.score.raw」に得点を送信	「cmi.score.max」に最高点、「cmi.score.raw」に得点、「cmi.score.scaled」にスケール化した得点を送信
	合格点以上の場合、「cmi.core.lesson_status」に「passed」を送信	合格点以上の場合、「cmi.completion_status」に「completed」、「cmi.success_status」に「passed」を送信
	合格点未満の場合、「cmi.core.lesson_status」に「failed」を送信	合格点未満の場合、「cmi.completion_status」に「completed」、「cmi.success_status」に「failed」を送信
ウィンドウクローズ	「cmi.core.session_time」に学習時間を送信 「LMSFinish」を実行	「cmi.session_time」に学習時間を送信 「cmi.exit」に「suspend」を送信 「Terminate」を実行

SCORM のバージョンによって送信される変数は異なりますが、いずれも、各ページの実行状態（インタラクション）、ステータス、スコア、時間をやり取りします。LMS との実際のやり取りはウィンドウが正常にクローズした場合に行われますので、途中で接続が切断したような場合には学習履歴の送信ができないことがあります。

## Excelのマクロセキュリティレベルの変更

「QUTE 設定.xls」を使用するには、Excel のセキュリティレベルを「中」に設定する必要があります。「高」以上に設定されている場合には、起動時にアラートがでますので、その指示に従いセキュリティレベルを「中」に変更してください。

なお、この設定は「QUTE 設定.xls」のシート上部にある[初期化]ボタンと「XML ファイルの出力」ボタン（マクロ）を有効にするためです。セキュリティは、ツール>マクロ>セキュリティから、セキュリティダイアログを開いて、「セキュリティ レベル」タブで変更することができます。

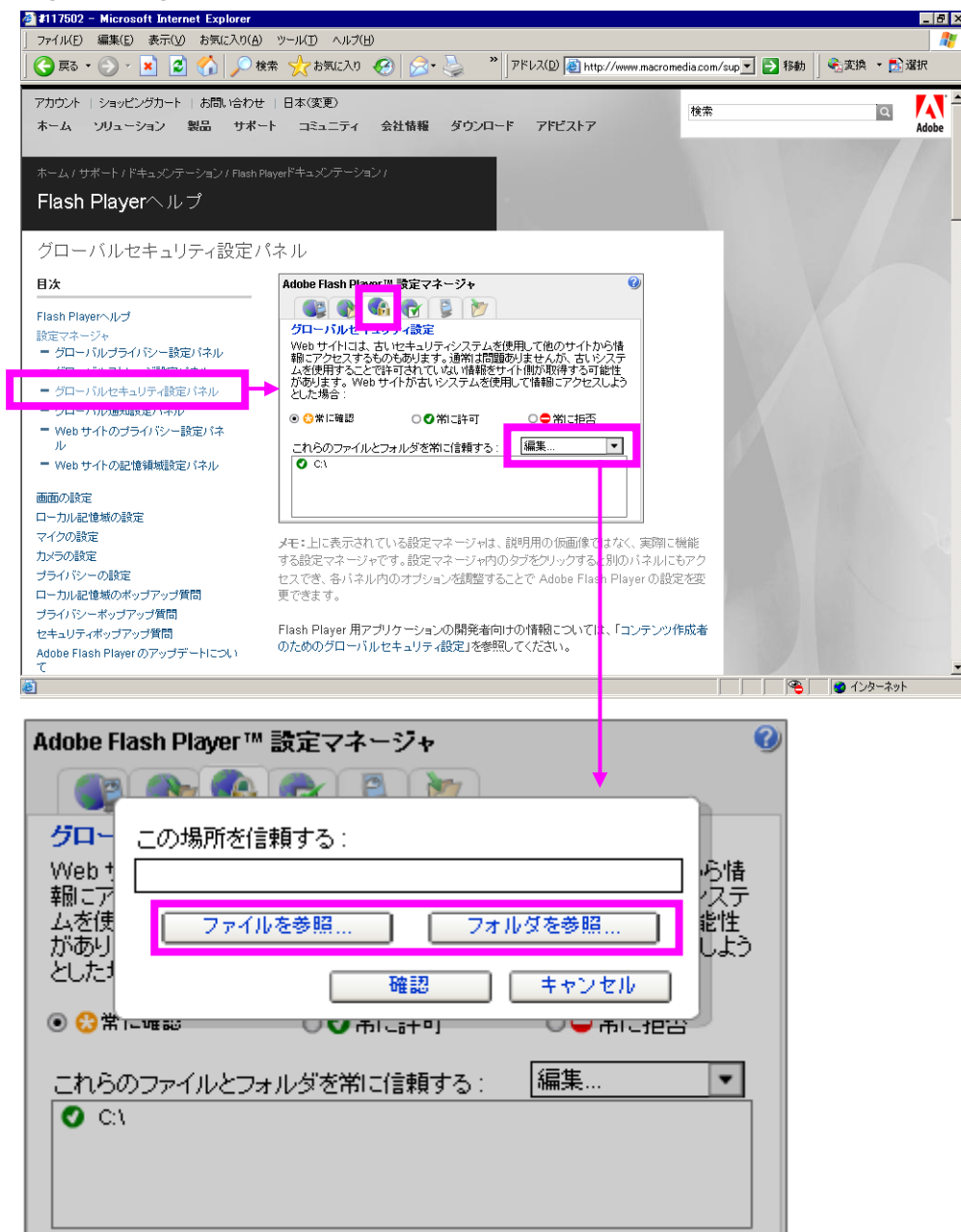


変更を有効にするには、一度 Microsoft Excel を終了する必要があります。

## Flash Player セキュリティの設定について

smart QUTE をローカルファイル上で実行する場合、Flash Player のセキュリティの変更が必要な場合があります。詳しくは下記をご参照ください。

[http://www.macromedia.com/support/documentation/jp/flashplayer/help/settings\\_manager04.html#117502](http://www.macromedia.com/support/documentation/jp/flashplayer/help/settings_manager04.html#117502)



Flash Player ヘルプページで、「グローバルセキュリティ設定パネル」を開いて、「編集」の横にある▼を押し、ローカルにある smart QUTE フォルダか、qute.swf ファイルを参照して設定します。

## 文字入力問題 正解値設定制限等一覧

制限	正解値設定	正解文字列
変換	&lt;	<
	&gt;	>
無効	' (シングルコーテーション)	文字列先頭にある[']はないものとされる
他	改行を含む文字列は正解として設定できない	

## 連絡先

- エスエイティーティー株式会社  
商品販売担当  
E-mail: [service@satt.jp](mailto:service@satt.jp)  
Tel: 03-5259-3390

## 参考URL

- エスエイティーティー株式会社  
URL: <http://satt.jp/>
- 弊社商品情報ページ  
<http://satt.jp/products/index.htm>

2009年8月31日

以上